

持続可能な農業の実現に向けた農家のGAP認証取得に対する影響要因分析

志田 夏希* - 孫 穎**

*横浜国立大学経営学部経営学科 **横浜国立大学大学院国際社会科学研究院

研究背景と目的

農業における持続可能性確保のため、GAP認証取得拡大が重要な課題となっている。

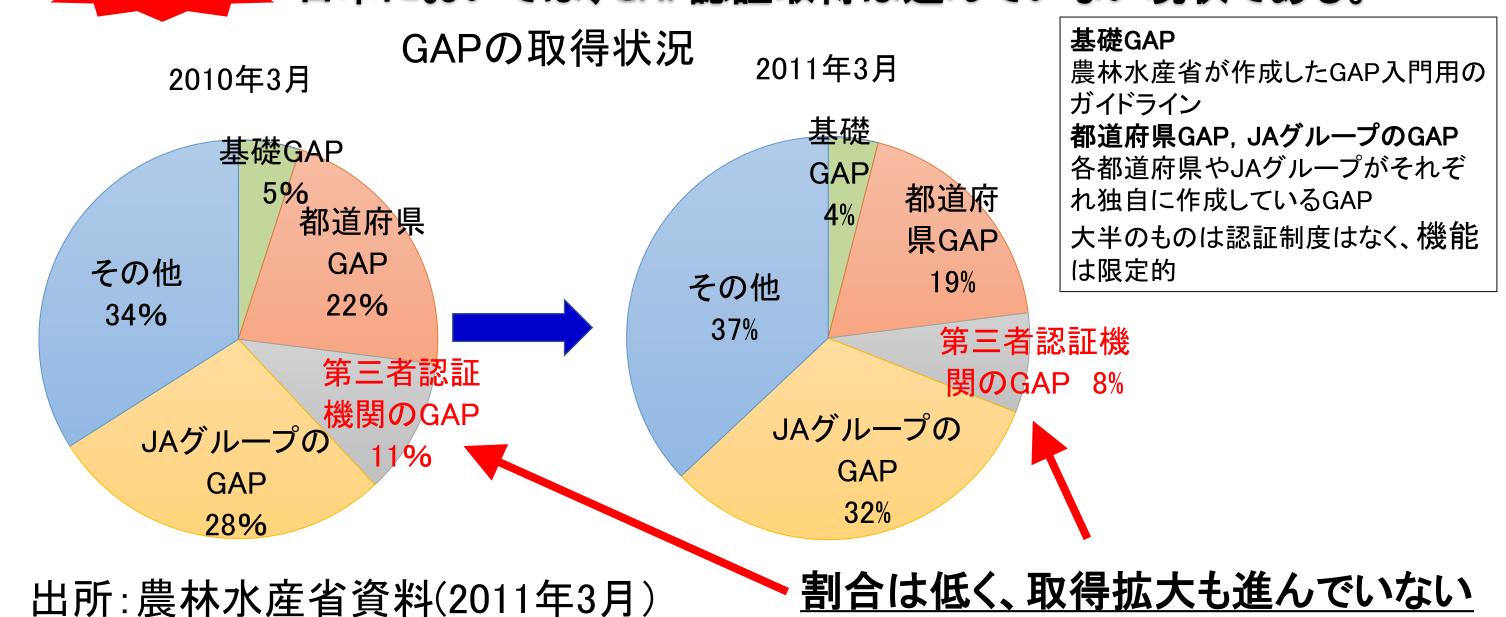
GAP(Good Agricultural Practice:農業工程管理)とは:

農業において食品安全、環境保全、労働安全等の<u>持続可能性を確保</u>するための生産工程管理の取組のこと。

GAP認証とは:

第三者認証機関による、GAPの取組の客観的な証明のこと。取得により環境保全等の取組の確実な実行が保証される。

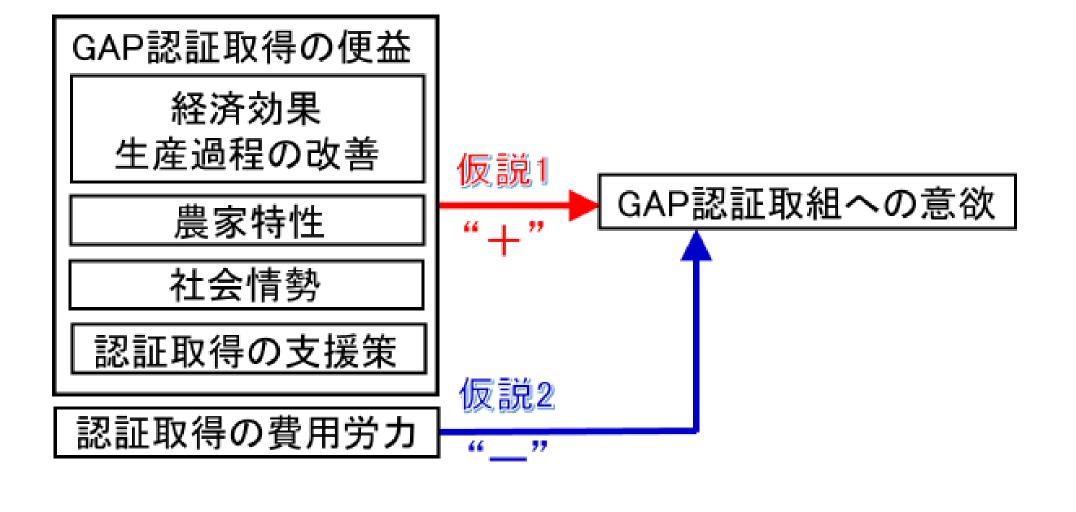
しかし 日本においては、GAP認証取得は進んでいない現状である。



研究目的

- ①農家のGAP認証取得意欲形成の規定因を抽出
- ②規定因の影響構造モデルを構築
- ③日本においてGAP認証取得を推進させる方向性を示唆する

仮説モテル



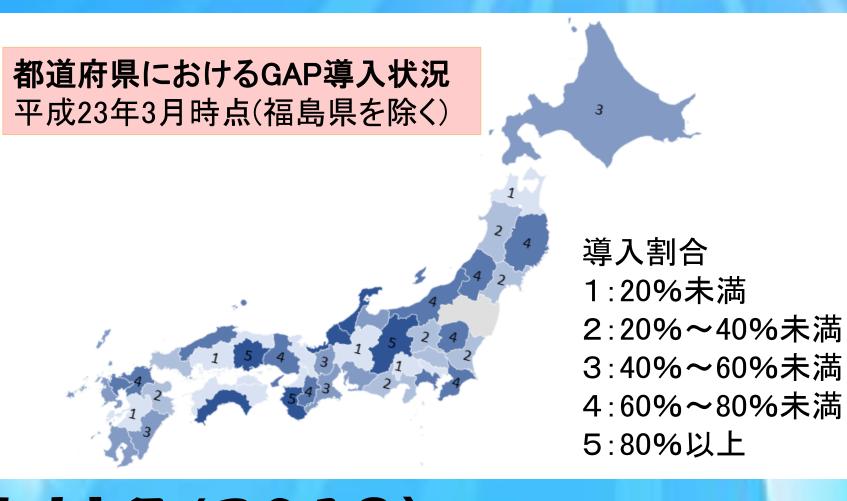
農家による認証取得の規定因の影響程度

	アンケート項目	度数	平均值	標準偏 差
認証取得の	初期費用が掛かる	120	4.22	1.12
労力費用	維持費用がかかる	120	4.10	1.10
	導入に労力がかかる	119	4.47	0.80
	維持管理に労力がかかる	120	4.08	1.03
社会情勢	オリンピックで提供するにはGAP認証が必須となる	120	3.54	1.37
	tpp発効により、GAP認証付き農産物が海外より多く輸入される可能性がある	120	3.29	1.33
	消費者に環境保全型農業が要求されている	119	3.26	1.32
	消費者に食の安全性が要求されている	120	4.13	1.16
	消費者にトレーサビリティが要求されている	120	3.73	1.28
認証取得の支援策	認証取得に際し、国から補助金がもらえる	120	3.68	1.43
	認証取得支援の指導員がいる	119	3.81	1.38
	認証取得支援のパンフレットがある	119	3.18	1.47
	地域全体で認証取得に取り組む	120	3.38	1.44
	地域の農協が認証取得の支援をしてくれる	120	2.88	1.63
	消費者のGAPの認知度があがる	119	3.34	1.56
	加工会社や小売会社のGAPの認知度が上がる	120	3.94	1.25
農家特性	環境問題に関心がある	120	4.32	0.89
	環境についての記事などをよく読む	120	4.08	1.05
	環境に貢献したい	119	4.34	0.86
	省エネなどに取り組んでいる	120	4.13	0.98
	社会問題に関心がある	119	4.34	0.93
	最新の時事ニュースなどを常にチェックしている	120	4.29	1.02
	社会に貢献したい	120	4.38	0.94
GAP認証取得よる	販売先が増える	120	3.16	1.24
便益	生産物を高値で取引できる	120	2.29	1.22
	消費者により買ってもらえる	119	2.61	1.24
	病虫害による被害が低減する	120	2.15	1.19
	面積当たりの収量が向上する	120	2.18	1.21
	労働時間の短縮につながる	120	2.85	1.47
	労災事故の減少につながる	119	4.00	1.16
	農薬、肥料の使用量減少につながる	120	3.10	1.46
	環境保全につながる	120	3.67	1.25
	トレーサビリティが確保できる	119	4.39	0.96
	販売先の信頼向上につながる	120	4.32	0.97
	消費者の信頼向上につながる	120	3.69	1.31
	GAP認証取得済みの方は、認証を維持していきたいと思いますか 認証未取得の方は、認証を取得したいと考えていますか	120	4.38	1.13

各因子の記述統計

因子名	項目数	平均値	標準偏差	N
F1 生産過程の改善	4	2.95	1.35	119
F2 農家特性	4	4.28	0.97	119
F3 社会情勢	3	3.70	1.26	119
F4 経済効果	3	2.68	1.23	119
F5 GAP認証取得の費用負担	3	4.13	1.09	120

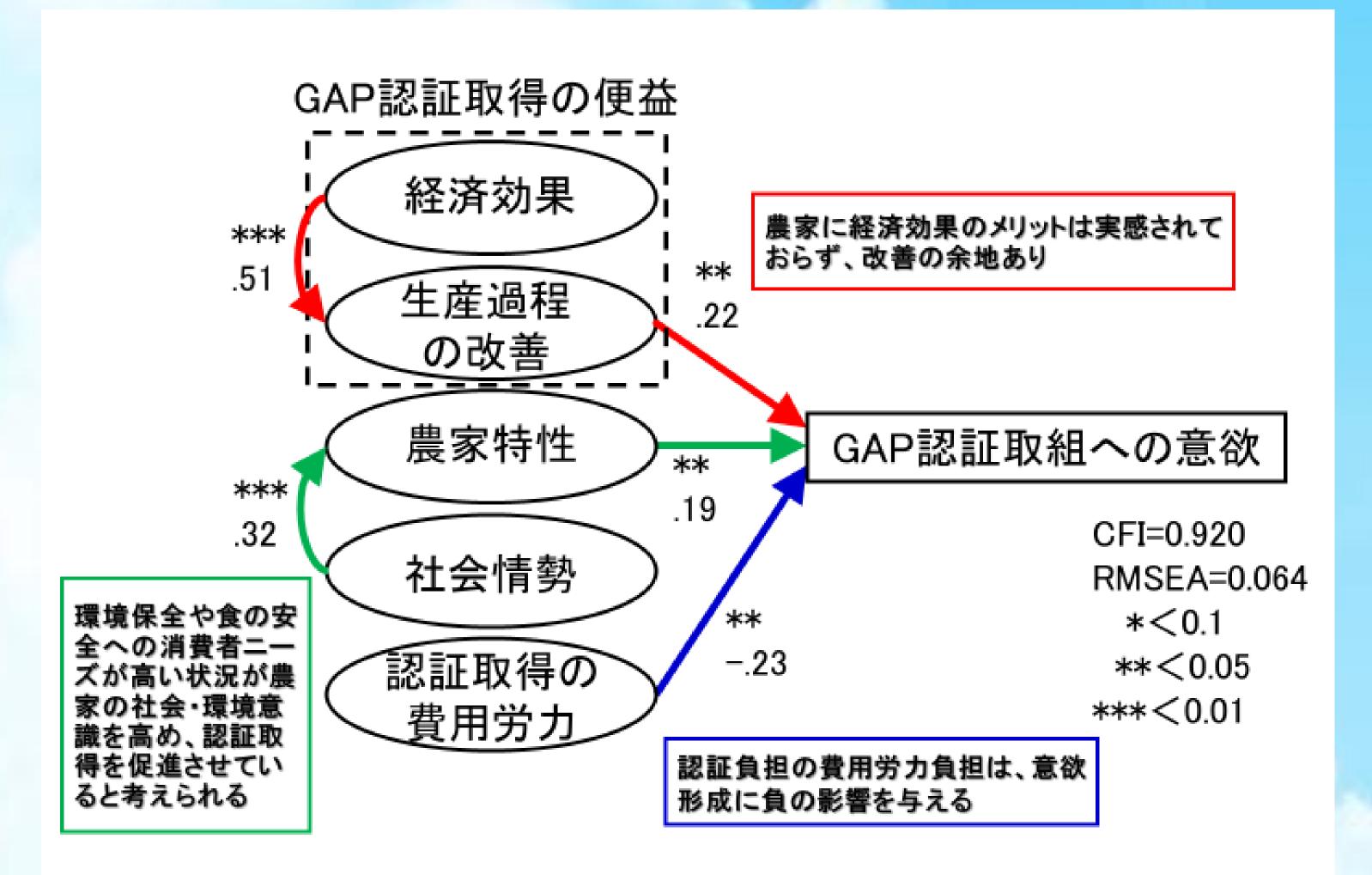
GAP種類別 点検項目数基礎GAP都道府県GAP A県 B団体2050130農林水産省調べ、平成20年7月他のGAPと比べ点検項目も多い



アンケート調査と研究対象(2018)

	調査方法	回答数	調査期間	研究対象及び調査方法
	訪問面接法	16	9月6、7日	青山ファーマーズマーケットの 出店農家から直接回答を回収
•	インターネット 調査法	106	9月1日~ 11月26日	JGAP協会ホームページ (http://jgap.jp/noujo_kensaku/) に公表されている 「JGAP認証取得農場」「AGIAGAP認証取得農場」 「取組開始宣言農場」にアンケートのURLを送付

農家のGAP認証意欲形成モデル



因子分析の結果

アンケート項目	F1	F2	F3	F4	F5
農薬,肥料の使用量減少につながる	0.80	0.17	0.02	0.18	-0.11
面積当たりの収量が向上する	0.79	0.09	-0.03	0.19	0.08
労働時間の短縮につながる F1生産過程	0.78	0.10	0.06	0.06	-0.17
環境保全につながるの改善	0.71	0.22	0.28	0.18	-0.16
社会問題に関心がある	0.28	0.82	0.21	-0.18	-0.04
最新の時事ニュースなどを常にチェックしている	0.23	0.79	0.16	-0.02	0.09
省エネなどに取り組んでいる		0.76	-0.06	0.22	0.00
社会に貢献したい	家特性	0.65	0.34	0.11	-0.16
消費者にトレーサビリティが要求されている	0.16	-0.04	0.86	0.23	0.11
消費者に食の安全性が要求されている	F3 [‡] t	会情勢	0.80	0.10	0.03
消費者に環境保全型農業が要求されている	0.00	U.2T	0.72	0.15	0.04
販売先が増える	0.12	0.13	0.17	0.81	0.01
消費者により買ってもらえる	0.30	F4糸	圣済効果	0.80	-0.09
生産物を高値で取引できる	0.14	0.01	0.10	0.78	0.09
維持費用がかかる	-0.06	-0.04	0.09	-0.03	0.92
初期費用が掛かる	-0.05	-0.11	_	忍証取得	
維持管理に労力がかかる	-0.17	0.11	- の書	貴用労力	0.67
α	0.83	0.80	0.79	0.80	0.77
因子負荷量	16.04	15.01	13.43	13.20	12.76

※「認証取得の支援策」は因子として抽出されなかった。

考察とまとめ

GAP認証取得推進に向けて

- ・ 消費者や食品会社のGAP認知を拡大するなど認証取得を<u>販売量増加につなげ、</u> 農家が経済的メリットを実感できるようにするのが重要
- ・ <u>消費者が食の安全性や環境保全を農業に求めている</u>ことを積極的に伝え、
- 環境・社会意識の高い農家に訴えかけることが必要
 ・ 認証取得の手続きを簡略化するなど、<u>費用労力の負担を軽減</u>するなどの方策が 有効であると考えられる